

## Ⅱ. 基本集計結果

### 1. 属性

○正社員、非正社員とも、年齢は『30代』が5～6割、子どもの人数は「2人」が4～5割強、今後子どもをもうけることを希望する人は正社員は4割弱、非正社員は2割強を占めている。

○祖父母と同居している人は1～2割、近居している人は5～6割を占めている。

○現在の就業形態は、正社員は「正社員（フルタイム）」が93.8%、フルタイムの非正社員は「パート・アルバイト」が71.6%、「契約社員」が23.5%を占めている。短時間の非正社員は「パート・アルバイト」が97.0%を占めている。

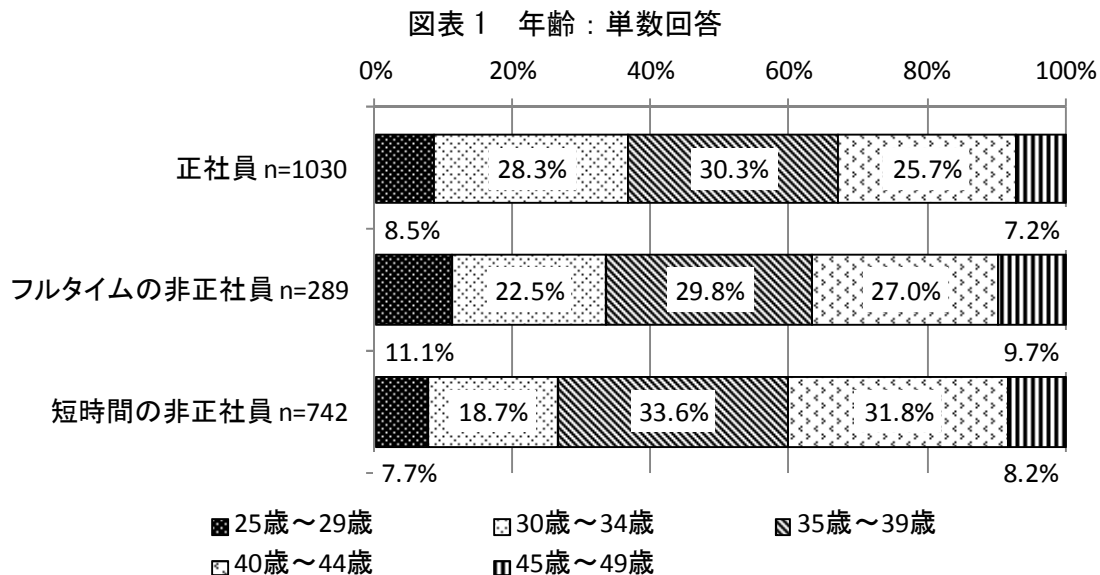
○現在の勤務先の業種は、正社員及びフルタイムの非正社員はそれぞれ「医療・福祉」が3割強、「その他サービス業」が2割前後を占めている。短時間の非正社員は、「医療・福祉」「卸売業、小売業」がそれぞれ2割前後を占めている。

○最終学歴は、正社員は「大学」が31.7%、「高校」が24.6%を占めている。フルタイムの非正社員は「高校」が35.6%、「専修学校（専門課程）」が21.5%、短時間の非正社員は「高校」が32.9%、「短大・高専」が24.0%を占めている。

#### (1) 年齢

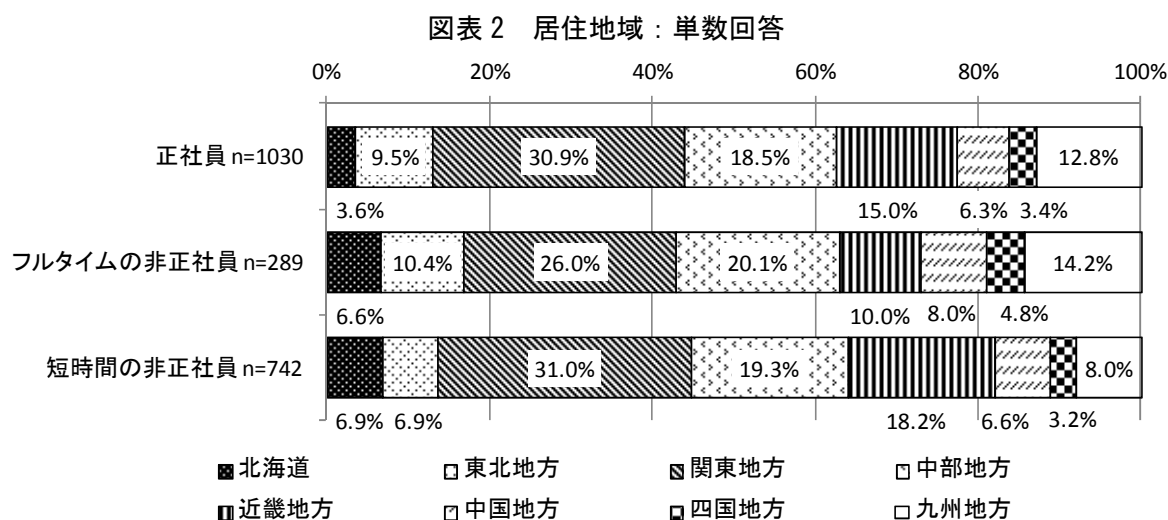
年齢をみると、正社員、非正社員ともに「35歳～39歳」が最も割合が高く、『30代』が5～6割を占めている。

短時間の非正社員は、他と比較してやや年齢層が高く、「40歳～44歳」（31.8%）と「45歳～49歳」（8.2%）を合わせた『40代』も4割を占めている。



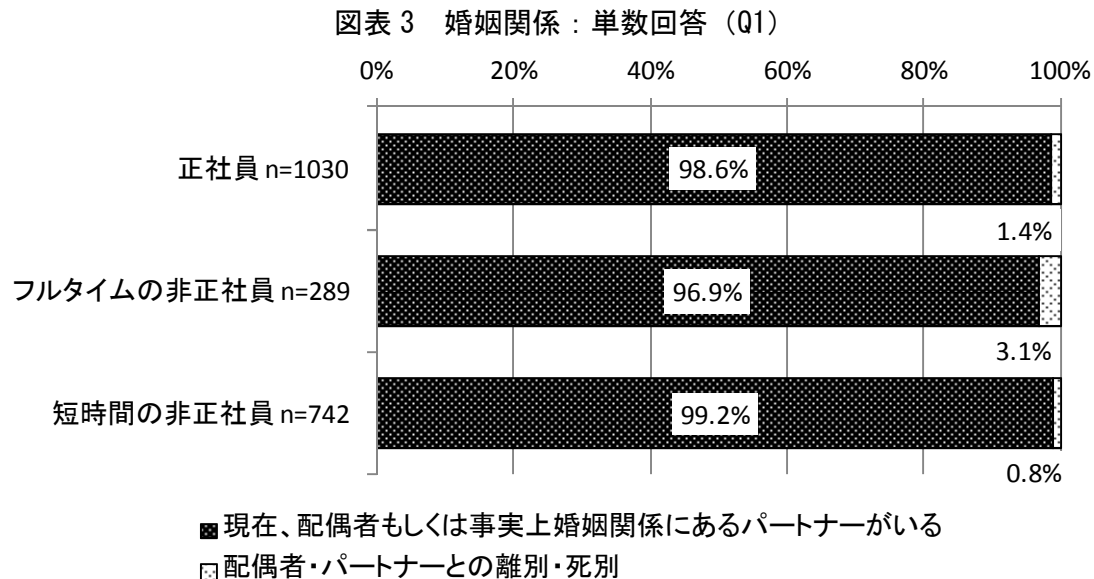
## (2) 居住地域

居住地域をみると、正社員、非正社員とも「関東地方」が最も割合が高く、3割前後を占めている。次いで、「中部地方」が2割前後となっている。



## (3) 婚姻関係

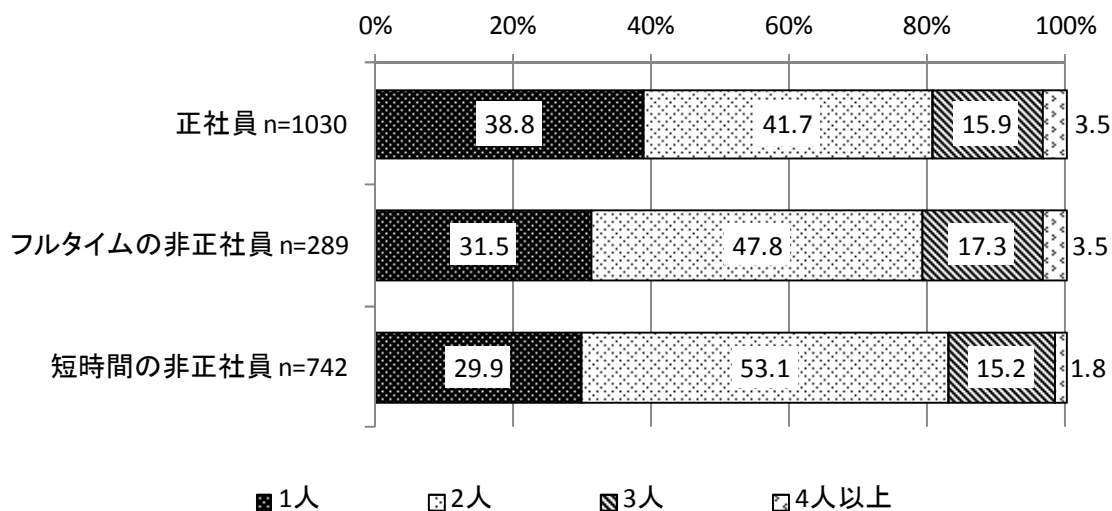
婚姻関係をみると、正社員、非正社員とも、ほぼ「現在、配偶者もしくは事実上婚姻関係にあるパートナーがいる」となっている。



#### (4) 子どもの人数

子どもの人数をみると、正社員は「1人」(38.8%)、と「2人」(41.7%)がほぼ同じ割合である。フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、「2人」が47.8%、53.1%と約半数を占め、次いで「1人」が31.5%、29.9%で約3割を占めている。

図表4 子どもの人数：単数回答 (SQ4)

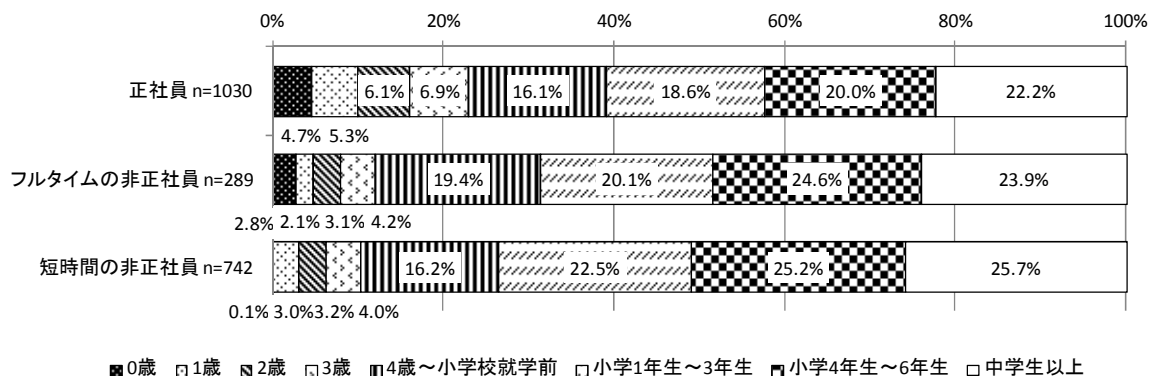


#### (5) 子ども（長子・末子）の年齢

長子の年齢をみると、正社員が低く、フルタイムの非正社員、短時間の非正社員の順に、年齢が高くなる傾向にあり、短時間の非正社員では、「中学生以上」が約4分の1、「小学1年生～3年生」と「小学4年生～6年生」を合わせた『小学生』が約半数を占めている。

一方、正社員は、『小学生』が4割弱を占めるが、「0歳」、「1歳」、「2歳」、「3歳」を合わせた『3歳以下』も2割強を占めている。

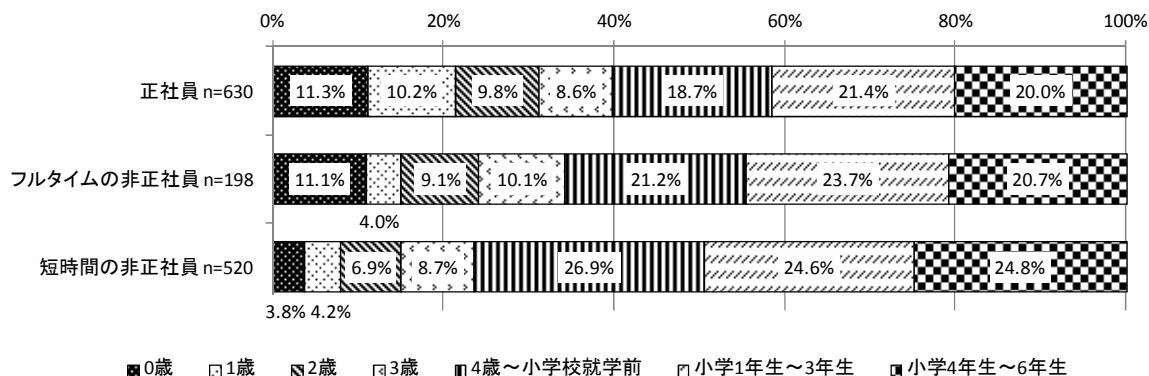
図表5 子どもの年齢（長子）：単数回答 (SQ5)



末子についても、同様に、正社員が低く、フルタイムの非正社員、短時間の非正社員の順に年齢が高くなる傾向にある。短時間の非正社員では、「小学1年生～3年生」と「小学4年生～6年生」を合わせた『小学生』が約半数を占めている。

正社員及びフルタイムの非正社員では、『小学生』は4割強を占めているが、「0歳」、「1歳」「2歳」、「3歳」を合わせた『3歳以下』も3～4割を占めている。

図表6 子どもの年齢（末子）：単数回答（SQ5）

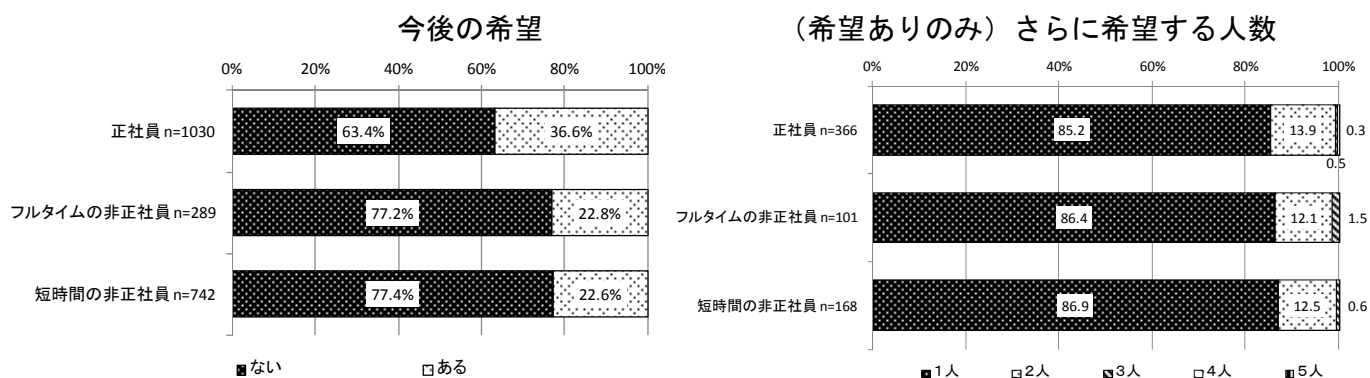


### (6) 今後、子どもをもうける希望

今後の子どもをもうける希望をみると、「ある」と回答した割合は、非正社員に比べて、正社員の方が高く、36.6%となっている。

また、希望ありと回答した人について、具体的な人数をみると、正社員、非正社員とも「1人」が8割以上、「2人」が1割強を占めている。

図表7 今後、子どもをもうける希望と人数：単数回答（Q2）

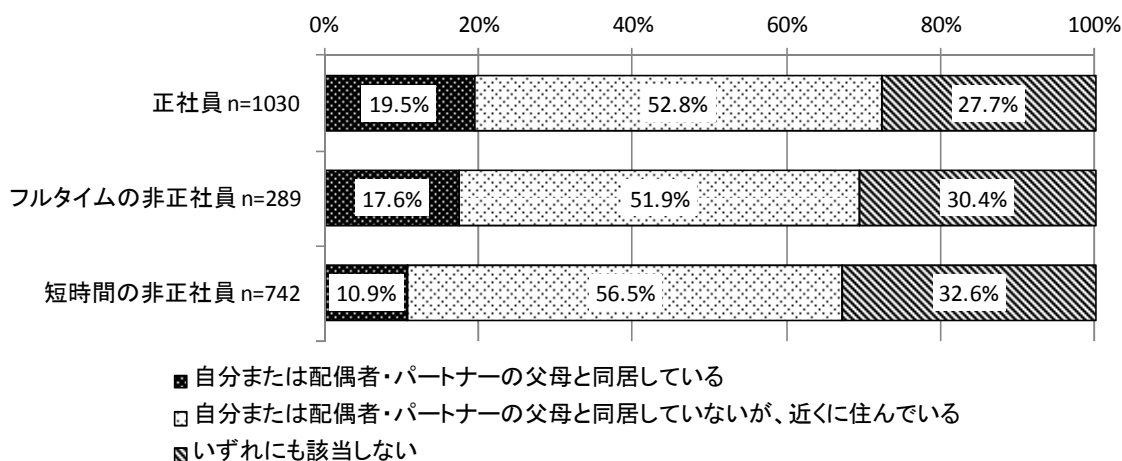


## (7) 祖父母との同居・近居の状況

祖父母との同居・近居の状況を見ると、正社員は他と比較して、「自分または配偶者・パートナーの父母と同居している」（19.5%）割合が最も高い。

短時間の非正社員は、他と比較して、「自分または配偶者・パートナーの父母と同居していないが、近くに住んでいる」（56.5%）、「いずれにも該当しない」（32.6%）の割合がいずれも最も高く、祖父母と同居・近居していない人が多い傾向にある。

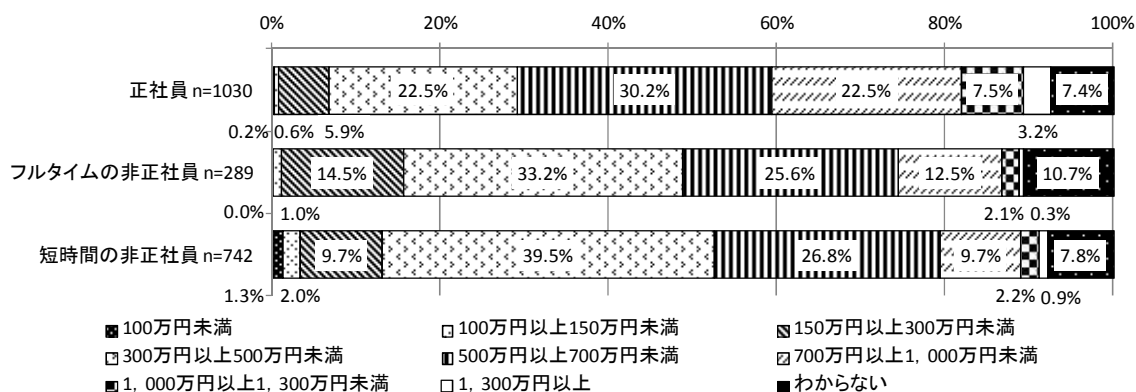
図表 8 祖父母との同居・近居の状況：単数回答（Q3）



## (8) 世帯年収

世帯年収を見ると、短時間の非正社員、フルタイムの非正社員、正社員の順に高くなる傾向がみられる。正社員では、「500万円以上 700万円未満」が最も割合が高く、30.2%となっている。一方、フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、「300万円以上 500万円未満」が最も割合が高く、それぞれ33.2%、39.5%となっている。

図表 9 世帯年収：単数回答（Q4）

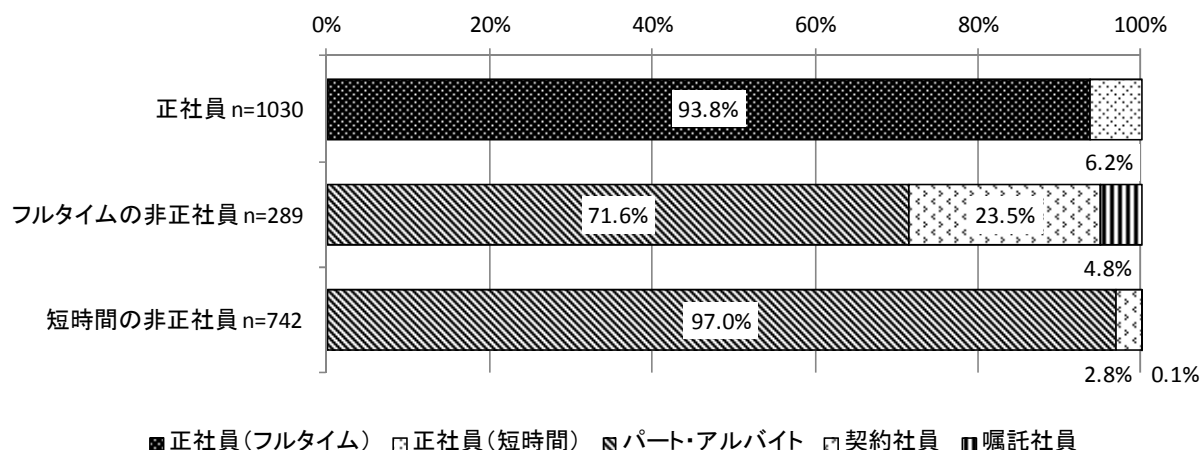


## (9) 現在の仕事の状況

### ①就業形態

現在の就業形態をみると、正社員は「正社員（フルタイム）」が93.8%で大半を占め、「正社員（短時間）」は6.2%である。フルタイムの非正社員は、短時間の非正社員と比較して「契約社員」が23.5%と割合が高い。短時間の非正社員は、「パート・アルバイト」が97.0%を占めている。

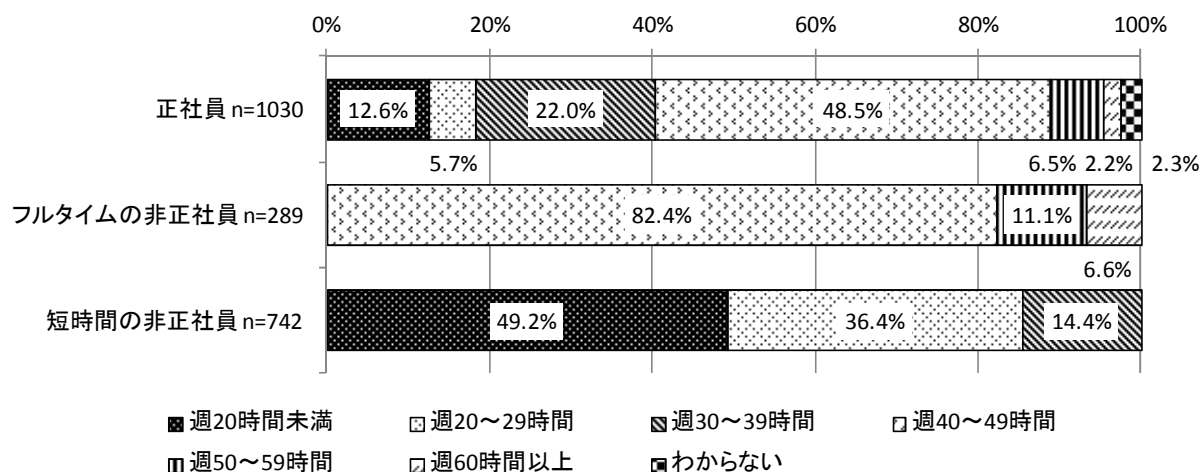
図表 10 現在の就業形態：単数回答（SQ2）



### ②現在の週当たり平均労働時間（残業時間を含む）

現在の週当たり平均労働時間をみると、正社員は「週 40～49 時間」が48.5%で最も割合が高く、次いで「週 30～39 時間」が22.0%を占めている。フルタイムの非正社員は、「週 40～49 時間」が82.4%を占めている。短時間の非正社員は、「週 20 時間未満」（49.2%）及び「週 20～29 時間」（36.4%）の割合が高くなっている。

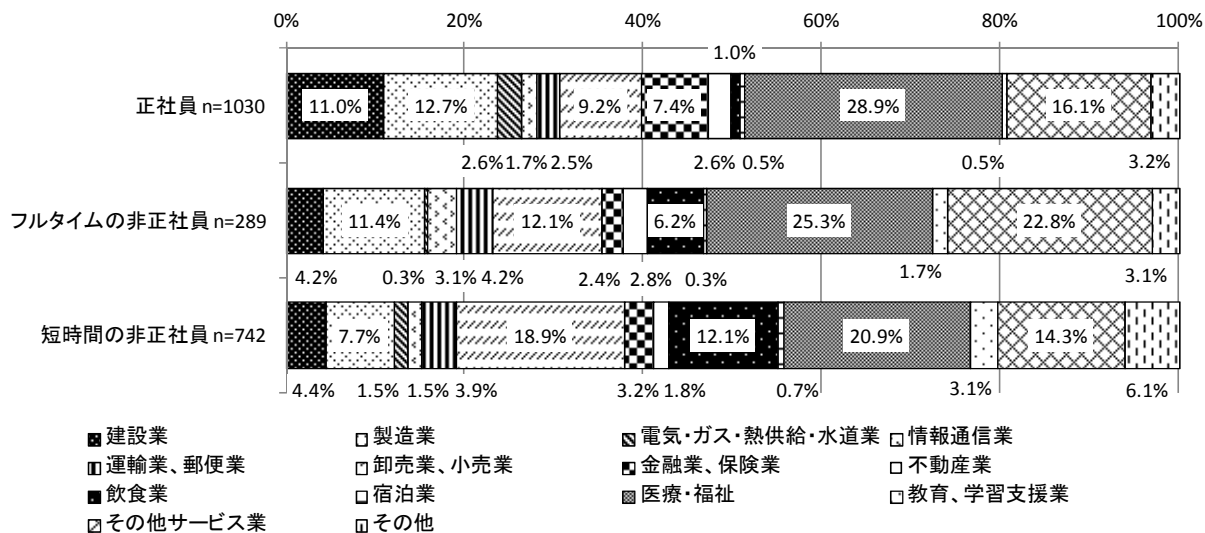
図表 11 現在の週当たり平均労働時間（残業時間を含む）：単数回答（SQ3）



### ③業種

業種をみると、正社員は「医療・福祉」が 28.9%と最も割合が高く、次いで「その他サービス業」が 16.1%を占めている。フルタイムの非正社員も正社員と同じ傾向にあり、「医療・福祉」が 25.3%、次いで「その他サービス業」が 22.8%を占めている。短時間の非正社員は、「医療・福祉」が 20.9%、次いで「卸売業、小売業」が 18.9%となっている。

図表 12 業種：単数回答 (SQ1)



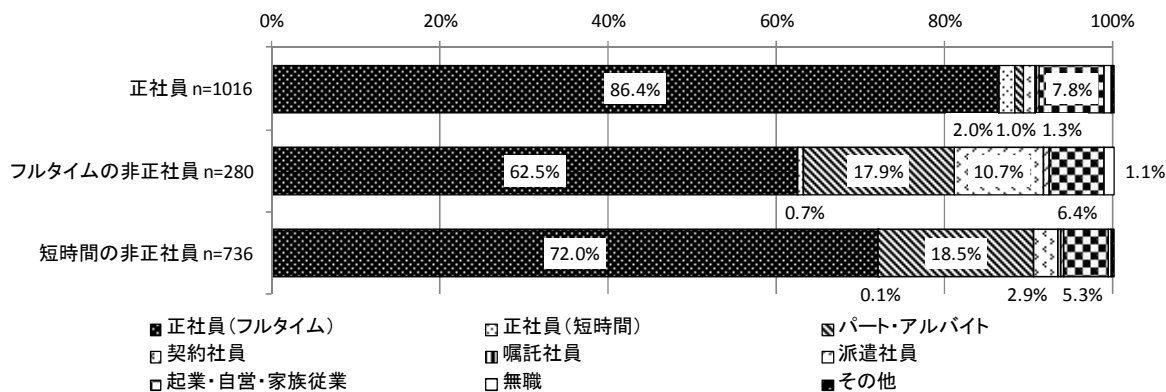
## (10) 配偶者・パートナーの仕事の状況

### ①就業形態

配偶者・パートナーの就業形態をみると、正社員は「正社員（フルタイム）」が 86.4%で最も割合が高く、次いで、「起業・自営・家族従業」が 7.8%となっている。

フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員は、「正社員（フルタイム）」がそれぞれ 62.5%、72.0%であり、次いで「パート・アルバイト」が 17.9%、18.5%を占めている。

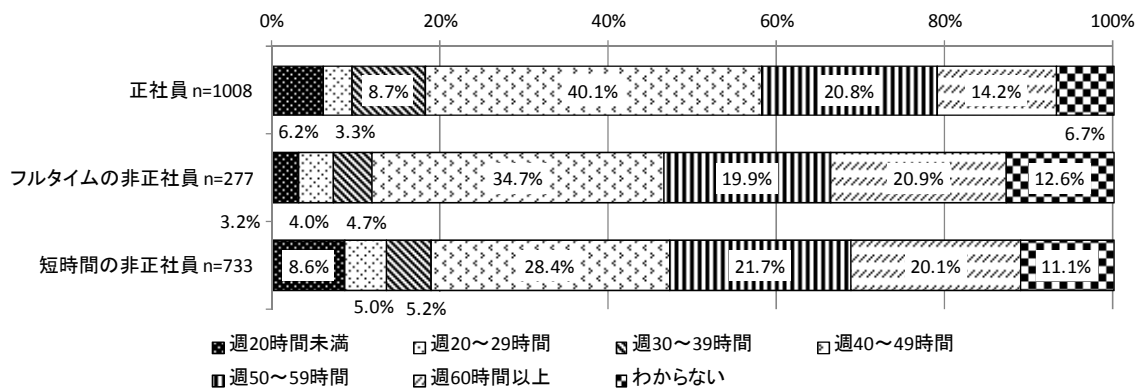
図表 13 配偶者・パートナーの就業形態：単数回答 (Q5)



## ②週平均労働時間

配偶者・パートナーが働いている人について配偶者・パートナーの、一週間の平均労働時間（残業時間を含む）をみると、正社員、非正社員とも「週 40～49 時間」の割合が最も高く、3～4 割程度を占めている。また、「週 50～59 時間」と「週 60 時間以上」を合わせた『50 時間以上』の割合は、正社員では 35.0%、フルタイムの非正社員及び短時間の非正社員では、4 割強となっている。

図表 14 配偶者・パートナーの週平均労働時間（残業時間を含む）：単数回答（Q6）



## (11) 最終学歴

最終学歴をみると、正社員は「大学」が 31.7%で最も割合が多く、次いで「高校」が 24.6%となっている。

フルタイムの非正社員は、「高校」が 35.6%で最も割合が高く、次いで「大学」及び「専修学校（専門課程）」がそれぞれ 2 割強となっている。

短時間の非正社員は、「高校」が 32.9%で最も割合が高く、次いで「短大・高専」が 24.0%となっている。

図表 15 最終学歴：単数回答（Q7）

